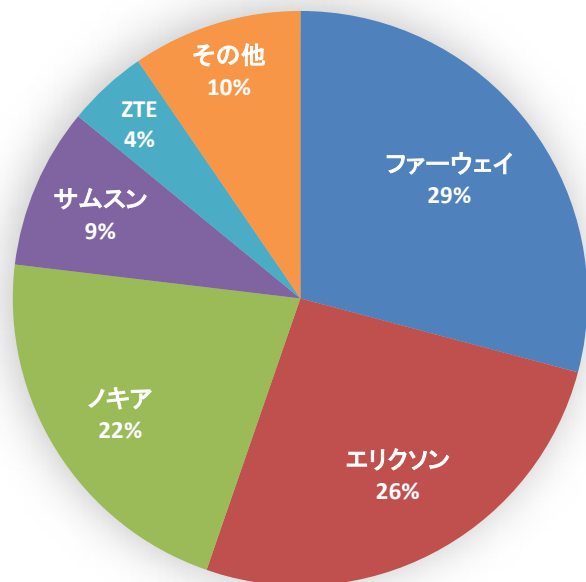


(2) IT・AI-①5G

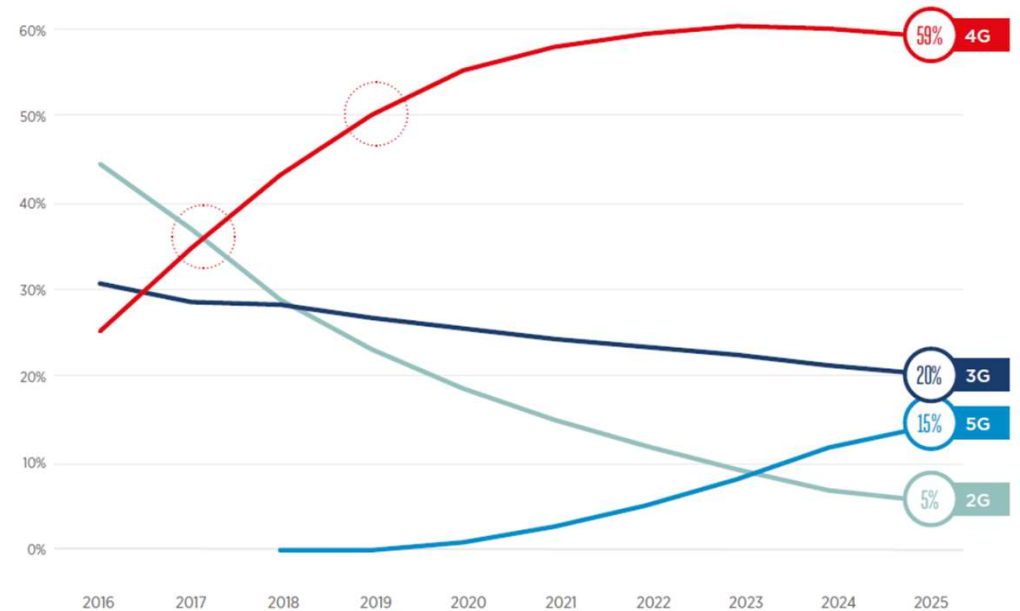
- 「高速大容量」「高信頼・低遅延通信」「多数同時接続」の3つの特徴を持つ移動通信システム。フィンランドではデジタルインフラ戦略において、社会におけるワイヤレステクノロジーを根本的に変える存在と位置づけられている。
- 5Gの利用が想定される主な産業は、情報通信、交通、ヘルスケア、スマートシティ、メディア、エンターテインメント。現時点では主に研究用に利用。都市部の一部で一般人が利用可能。
- フィンランドに本社を置くNokiaは5G基地局市場世界第3位。ハード開発・生産のみならず、研究・ソフト開発、技術者の育成、スタートアップ企業の支援などを実施。2022年、東京にローカル5Gラボを設置。
- 最先端の通信技術の研究において中心的な役割を果たしてきたオウルにおいて、2018年からオウル大学を中心に6Gフラグシップ研究プログラムを実施中。2021年、日本の「ビヨンド5Gコンソーシアム」と研究開発において連携協定を締結。

5G基地局の世界売上高シェア(2020)



出典: TrendForceのデータを基に作成

全世界の通信規格の推移予測



出典: GSAM; The Mobile Economy 2019

(2) IT・AI-②AuroraAI

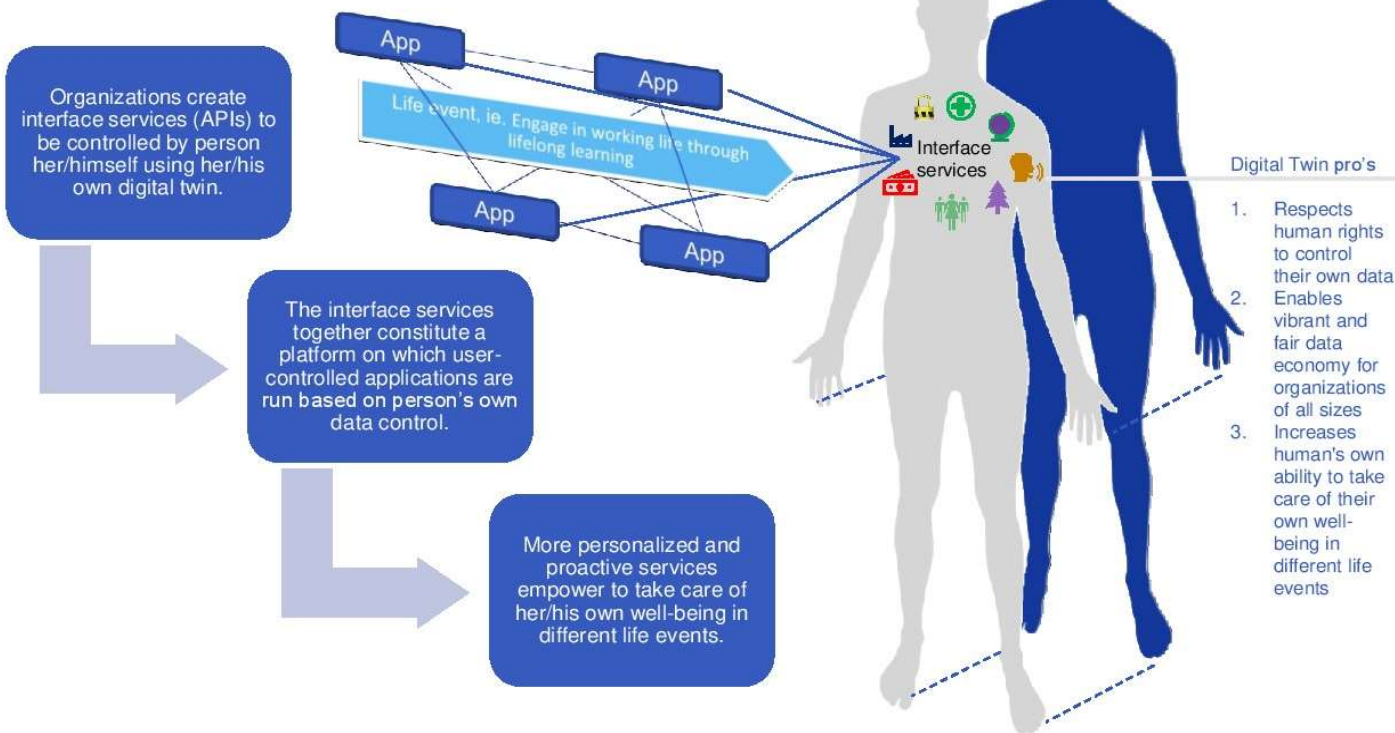
●フィンランド財務省が主体となり政府が進めている、AI時代における「human-centric and ethical society」を目指すための概念。経済的格差や高齢化等によって生じる複雑な社会的問題への対応能力を強化することを目的。

●個人(もしくは企業)の状況にあわせ、必要な情報を一元的にAIが提供する行政サービスシステム。個人のバーチャル人格を作成し、各種サービスと連結。また、個人の情報の収集・蓄積にもつながるもの。

●2019年3月に策定した開発・実装計画に基づき、国家プログラムを推進中。

概念図

#AuroraAI's core concept:
Digital Twin



導入に向けたスケジュール

2018年9月－2019年2月:

予備調査を実施

2019年3月:

開発・実装計画(2019-2023)を策定

2020年2月:

AuroraAI国家プログラム開始

(2020年:

初期バージョンの開発
ベータ版のリリース)

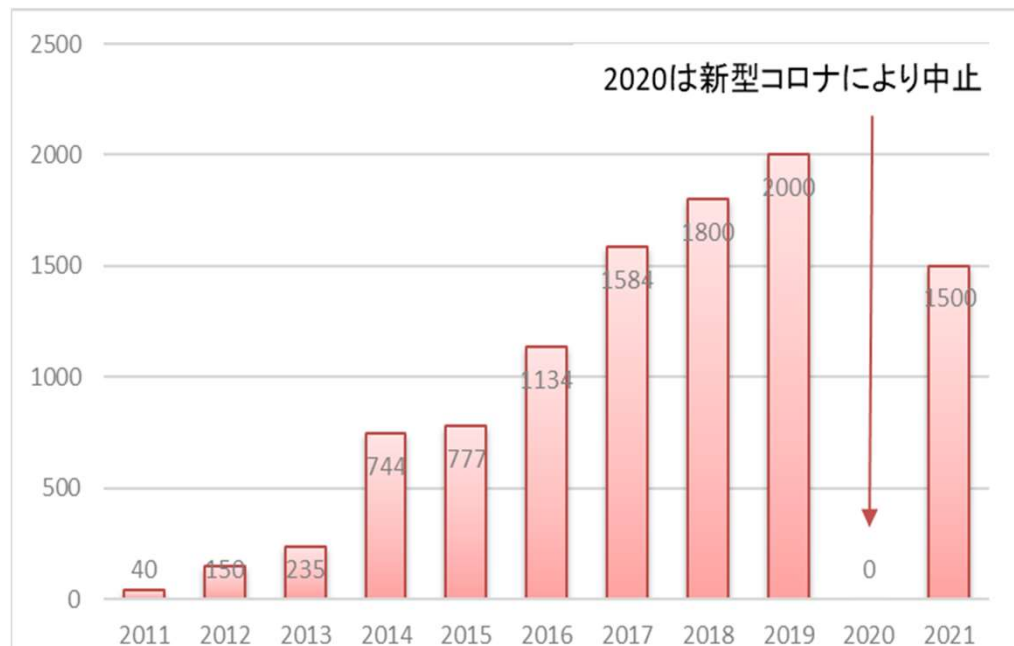
2022年末:部分運用開始(予定)

2023年以降:本格有用開始(予定)

(2) IT・AI-③Slush

- フィンランド発世界最大級のスタートアップイベント。元々は起業に対する考え方を前向きに変えるための学生主導によるイベント。現在でも運営主体は学生。
- 2008年の初回は300人程度の参加であったが、2019年のSlush Helsinkiには100か国以上からスタートアップ約3,500社、25,000人(うち、投資家2,000人)が参加。また、Slushブランドとして、アメリカや中国など世界40か国以上でイベントを開催。現在はイベントのみならず、起業家育成のプログラム等も実施。
- 2019年はハッカソンイベント「Junction」やサイドイベントと併せ、Helsinki Entrepreneur Weekとして開催。日本関連ではJETROやJB Nordic Ventures、福岡市などがサイドイベントを開催。
- 2年ぶりの開催となった2021年は、入場者数を前回開催時の約3分の1の8,800人に縮小して開催。

Slush Helsinkiに参加した投資家数



出典: Slushのデータを基に作成

起業に向けた意識の変化

起業希望率(フィンランドの高校生及び大学生へのアンケート結果: ETLA)

2000年

1%

2017年

40%

【参考】ENTREPRENEURSHIP REDEFINED(白書)

SLUSH参加者のデータや起業家、投資家、運営者の58人の匿名のインタビューに基づいてSLUSHが作成した白書。2020年代がどのようになるか20の予測等が掲載されている。

<https://www.slush.org/entrepreneurship-redefined/>